



平成30年度 講座聴講のご案内

福島県教育センター

- 教育センターでは、各種研修の中で行われる下記の講義や講演の聴講希望を受け付けております。聴講の時間帯だけおいていただき、聴講することができます。費用はかかりません。
- 参加対象は、県内の国公立・私立学校教職員（講師等を含む）及び国公立・私立幼稚園教職員（保育所職員も含む）を基本としておりますが、教職員を目指している大学生（大学院生）も聴講が可能です。また、備考欄に「※一般聴講可」と記載してあるものについては、一般の方の聴講も受け付けます。
- 受付は、開始10分前となります。

申し込み方法
 教育センターのWebサイトより申込用紙の様式をダウンロードし、開催日の1週間前までにEmailでお申し込みください。ご不明な点につきましては、「総合企画チーム」までお問い合わせください。
 URL <http://www.center.fks.ed.jp/>
 TEL 024-553-3193

| 聴講番号 | 教科等 | 講義・講話等題名 | 主な内容 | 所属 | 職名氏名 | 聴講日時 | 会場 | 定員 | 備考（講座名） |
|------|-------------|--|---|------------------|-------------|--------------------------|---------------|-----|---|
| 1 | 幼児教育 | 《講義》「保育に生きる記録のあり方」 | 保育記録は子ども理解を深め、保育を省察するために大変重要です。どのような視点で記録を書くか、理解や省察が次の保育に生かされるのか、様々な事例を挙げて考えたいと思います。 | 聖心女子大学 | 教授 河邊 貴子 | 5月30日（水） 13:00～15:30 | 311研修室 | 20名 | 幼稚園等経験者研修Ⅱ「保育専門研修」※一般聴講可 |
| 2 | 幼児教育 | 《講義・演習》「音楽をバックに楽しむ」 | 子どもたちが音や音楽で十分遊び、表現する楽しさを味わうことができるよう、幼児の音楽にかかわる活動を豊かにしていくための指導のポイントと、実技を通して学んでいきます。 | 福島学院大学 | 教授 伊藤 俊彦 | 8月21日（火） 8:30～10:45 | 講堂 | 20名 | 幼稚園等新規採用教員研修「宿泊研修」※一般聴講可 |
| 3 | 幼児教育 | 《講義》「幼児の発達と人間関係」 | 子どもたちの発達や子どもたちの人間関係により、その遊び方や関わり方も変わってきます。保育者としての大切な見取り方や関わり方を学びます。 | 福島大学 | 准教授 原野 明子 | 8月22日（水） 13:00～15:00 | 講堂 | 20名 | 幼稚園等新規採用教員研修「宿泊研修」※一般聴講可 |
| 4 | 国語 | 《講義》「資質・能力を育む深い学びのある国語科授業づくり」 | 「深い学び」のある国語科授業にしていけるためには、普段の授業からどのような発問や言語活動が必要とされてくるのか。数多く用意された教科書教材から、具体的事例を基に、子どもたちの学びに直結した授業づくりのポイントを知ることができます。 | 福島大学 | 教授 佐藤 佐敏 | 7月23日（月） 13:00～15:00 | 311研修室 | 20名 | 専門研修「アクティブ・ラーニングにつながる中学校国語科指導力向上講座」 |
| 5 | 国語 | 《講義》「どの子にも学ぶ喜びと居場所を～言葉と向きあい、言葉にひたる姿を求めて」 | 教科書教材を基にした演習等も取り入れながら、これまでの指導の在り方を見直すとともに、これからの国語科教育の目指す方向性について確認します。国語科教育の本質を見失わず、まさしく「不易と流行」について深い学びを得ることができます。 | 宮城教育大学 | 名誉教授 相澤 秀夫 | 9月19日（水） 10:00～11:25 | 311研修室 | 20名 | 小学校経験者研修Ⅱ「教科指導研修」 |
| 6 | 国語 | 《講義》「『主体的・対話的で深い学び』を国語科の授業でどう実現するか」 | 「アクティブ・ラーニング」の3つの視点から学習過程の質的改善を図るためには、実際の授業の中でどのような工夫が必要になってくるのか。実際の教科書教材における発問例などを基に、今すぐ実践に移せる内容を手に入れることができます。 | 東京学芸大学 | 准教授 中村 和弘 | 10月2日（火） 13:00～15:00 | 141研修室 | 20名 | 専門研修「アクティブ・ラーニングにつながる小学校国語科指導力向上講座」 |
| 7 | 国語 | 《ワークショップ》「PISA型読解力を高める授業づくり」 《講義》「PISA調査をふまえた国語科指導の在り方について」 | PISAの求める読解力を高める授業づくりについて、ワークショップを通じてさまざまな可能性を探ります。また、講義を通じてPISA調査を踏まえた国語科指導の在り方について理解を深めます。 | 明治学院大学 | 教授 中村 敦雄 | 10月19日（金） 10:20～14:50 | 311研修室 | 10名 | 専門研修「アクティブ・ラーニングにつながるPISA型読解力研究講座」 |
| 8 | 国語 | 《講義》「国語科を中心とした言語活動の充実～論理的な思考力・表現力を育てるために～」 | 思考力・判断力・表現力等を育むために言語活動を普段の授業の中にどのように取り入れて、そして、学力の向上にどのようにつなげていけばよいか。具体的な事例を基に授業に直結するお話をいただき、授業改善のポイントを学べます。 | 白百合女子大学 | 教授 河野 順子 | 10月26日（金） 13:00～15:00 | 311研修室 | 20名 | 専門研修「言語活動の充実を図る小学校国語科指導力向上講座」 |
| 9 | 社会 | 《講義》「県立博物館を活用した、これからの社会科の授業づくり」 | 受け身の見学から積極的活用へ、県立博物館と学校が真剣に向き合うことが、授業の可能性の幅をひろげるきっかけとなります。活用の事例等も紹介しながら、これからの社会科の授業づくりについて学びます。 | 福島県立博物館 | 主任学芸員 荒木 隆 | 9月18日（火） 15:00～16:45 | 132研修室 | 10名 | 小学校経験者研修Ⅱ「教科指導研修」 |
| 10 | 社会 | 《講義》「社会的な見方・考え方をひろげる授業づくりのヒント」 | 国際協力機構（JICA）のもと、海外での国際協力活動から学んださまざまな体験を聞くことで、社会的なものの見方・考え方の幅をひろげ、社会の授業を見直すきっかけづくりを行います。 | 国際協力機構（JICA） | 国内協力員 坂本 拓馬 | 9月12日（水） 15:00～16:45 | 121研修室 | 10名 | 中学校経験者研修Ⅱ「教科指導研修」 |
| 11 | 社会・ 地歴公民 | 《講義・演習》「博物館展示資料と体験学習活動を組み合わせた思考・判断・表現する社会科の授業～『古墳時代』を題材にして」 | 生徒の思考力・判断力・表現力を育むための資料提示の仕方や問いの工夫、ICT活用などについて講義・演習を行います。また、博物館の活用・連携についてもお話しいただきます。先生方の授業に、さらに広がりや深みが増すための新たな視点が得られるでしょう。 | 福島県立博物館 | 主任学芸員 荒木 隆 | 6月19日（火） 13:00～15:00 | 第1パソコン 研修室 | 10名 | 専門研修「資料活用を通して思考・判断・表現する力を育む社会科・地理歴史科・公民科の授業づくり講座」 |
| 12 | 社会・ 地歴公民 | 《講義・演習》「主権者意識を育成する学習指導の意義と指導法」 | 主権者意識を育成するための指導法にとどまらず、新しい学習指導要領の方向性なども含めて、講義・演習を行います。私たちが目指す教育とはどのようなものなのか、最新の情報を聞くことで先生方の今後の授業づくりにつなげることができます。 | 文部科学省 初等中等教育局 | 教科調査官 樋口 雅夫 | 9月11日（火） 10:00～12:00 | 311研修室 | 20名 | 専門研修「アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた主権者教育の授業づくり講座」 |
| 13 | 算数 | 《講義》「『深い学び』を実現する算数科の授業」 | 今あらためて算数の教科の本質をしっかりとおさえることの大切さが叫ばれています。子どもの深い学びを支える算数科ならではの教材の特性や、それに基づく算数科指導の在り方を学びます。 | 福島大学 | 教授 森本 明 | 9月19日（水） 10:10～11:50 | 141研修室 | 10名 | 小学校経験者研修Ⅱ「教科指導研修」 |
| 14 | 算数 | 《講義》「『深い学び』を実現する算数科の授業」 | 今あらためて算数の教科の本質をしっかりとおさえることの大切さが叫ばれています。その上で、「数学的な見方・考え方」「数学的に考える資質・能力」「数学的活動」をキーワードに、子どもの学びが深まる授業の在り方について学びます。 | 帝京大学 | 教授 清水 静海 | 9月25日（火） 13:00～14:45 | 141研修室 | 10名 | 専門研修「数学的活動の充実を図る算数科授業づくり講座」 |
| 15 | 数学 | 《講義》「数学科におけるアクティブ・ラーニングの日常化に向けて」 | 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善のために、数学科におけるアクティブ・ラーニングの視点を学びます。その上で、数学科ならではの教材の特性や、それに基づく数学科指導の在り方について理解を深めます。 | 福島大学 | 准教授 秋山 了 | 8月10日（金） 13:00～14:45 | 132研修室 | 10名 | 専門研修「アクティブ・ラーニングにつながる中学校数学科授業づくり講座」 |
| 16 | 数学 | 《講義》「次期学習指導要領を見据えたこれからの統計教育」 | 生徒の統計的思考力や問題解決力をどのように育成していくのか。次期学習指導要領を踏まえながら、統計的な内容に関する指導の在り方や授業改善のポイントについて理解を深めます。 | 静岡大学 | 教授 松元 一郎 | 10月16日（火） 15:00～16:45 | 132研修室 | 10名 | 専門研修「統計的に問題解決する力を育成する中学校・高等学校数学科授業づくり講座」 |
| 17 | 理科 | 《講義》「資質・能力の育成を目指す理科授業とは」 | 国際学力調査の結果や中央教育審議会答申を踏まえた次期学習指導要領について学び、今後求められる資質・能力の育成について、理科教育の視点から理解を深めます。 | 東洋大学 | 教授 後藤 顕一 | 7月4日（水） 13:00～14:50 | 231研修室 | 20名 | 高等学校経験者研修Ⅱ「教科指導研修Ⅰ」 |
| 18 | 理科 | 《講義》「資質・能力を育む理科の指導の在り方」 | 理科の指導を通して生徒の「資質・能力」を育む指導のポイントについて学びます。また、物理分野の指導や「ものづくり」を通して、想像力あふれる生徒を育成する視点について理解を深めます。 | 千葉大学 | 教授 加藤 徹也 | 7月30日（月） 14:45～16:45 | 231研修室 | 10名 | 専門研修「アクティブ・ラーニングにつながる中学校理科講座」 |
| 19 | 理科 | 《講義》「資質・能力を育む理科の指導の在り方」 | 理科の指導を通して児童の「資質・能力」を育むためには、どのような視点で指導にあたっていく必要があるのか、そのポイントについて学びます。 | 福島大学 | 准教授 平中 宏典 | 8月9日（木） 14:45～16:45 | 231研修室 | 10名 | 専門研修「アクティブ・ラーニングにつながる小学校理科講座」 |

| 聴講番号 | 教科等 | 講義・講話等題名 | 主な内容 | 所属 | 職名氏名 | 聴講日時 | 会場 | 定員 | 備考(講座名) |
|------|---------|----------------------------------|---|--------------|--------------------|--------------------------|---------------|-----|---|
| 20 | 理科 | 《講義》「月の縦孔・地下空洞とは何か」 | JAXAは、月探査SELENE(セレーネ:愛称「かぐや」)を打ち上げ、SELENEは無事月の周りを回る衛星となり、多くのデータの取得に成功しました。そのSELENEのデータに、巨大な縦孔が月に存在するのを発見しました。これらの発見の持つ意味について、お話しいただきます。 | 宇宙航空研究開発機構 | 助教 春山 純一 | 10月19日(金) 13:00~14:50 | 231研修室 | 20名 | 専門研修「科学的な自然観を育む高等学校理科講座」 |
| 21 | 音楽 | 《講義》「郷土の伝統音楽と文化」 | 『福島の民謡とわらべ唄』『ふくしまの祭りと民俗芸能』などの著者・懸田弘訓先生から「日本人の美意識」を育む観点から、日本の伝統音楽の特質についてわかりやすく教えていただきます。 | 民俗芸能学会 | 評議員 懸田 弘訓 | 9月12日(水) 14:00~16:45 | 音楽研修室 | 15名 | 中学校経験者研修Ⅱ「教科指導研修」 |
| 22 | 音楽 | 《講義・演習》「民謡の魅力」 | 日本伝統音楽のよさとは何かを民謡発声の実技研修を通して理解するとともに、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現(歌唱)の授業づくりについて学びます。 | 福島県民謡連盟 | 理事 明美 佐藤 | 9月13日(木) 14:30~16:45 | 音楽研修室 | 15名 | 中学校経験者研修Ⅱ「教科指導研修」 |
| 23 | 音楽 | 《講義・演習》「魅力ある音楽づくりの指導」 | 「子どものコミュニケーション力を高める!音楽遊びベスト40」「子どもを音楽好きにする!楽器遊びベスト40」の著者で音楽づくり分野の第一人者である熊木真見子先生から、音楽のコミュニケーションとしての音楽づくりについて実技演習を通して理解を深めます。 | | 熊木真見子 | 9月19日(水) 14:00~16:45 | 音楽研修室 | 6名 | 小学校経験者研修Ⅱ「教科指導研修」 |
| 24 | 音楽 | 《講義・演習》「アフリカの音楽」 | パーカッション奏者のJ. P. センセイ先生からアフリカドラムミュージックの演奏法について学びます。 | ムジカトゥッティ | パーカッション奏者 J.P.センセイ | 10月1日(月) 13:00~16:45 | 音楽研修室 | 10名 | 専門研修「世界の諸民族音楽の授業づくり講座」 |
| 25 | 音楽 | 《講義・演習》「アフリカの音楽～ジェンベの魅力」 | 西アフリカの太鼓ジェンベに触れ、アフリカ音楽のリズム感や音の捉え方について理解を深めます。西洋音楽の音の捉え方とは違った観点で音楽を体験することができます。 | NPO法人ふくしまリンク | 理事 山地 良平 | 10月2日(火) 8:30~12:00 | 音楽研修室 | 10名 | 専門研修「世界の諸民族音楽の授業づくり講座」 |
| 26 | 音楽 | 《講義・演習》「長唄の魅力」 | 長唄三味線師範会、師範 柗屋弥左治先生から、三味線の取り扱い・長唄の歴史・唱法・教材化の視点などをわかりやすく学びます。 | 長唄三味線師範会 | 師範 柗屋弥左治 | 10月11日(木) 13:00~16:45 | 音楽研修室 | 12名 | 中学校経験者研修Ⅰ「教科指導研修」 高等学校経験者研修Ⅰ「教科指導研修」 |
| 27 | 音楽 | 《講義・演習》「能楽の魅力」 | 宝生流謡曲師範、村澤かをり先生から能楽の魅力や謡曲の発声法から鑑賞法までわかりやすくご指導いただきます。 | 宝生流謡曲 | 師範 村澤かをり | 10月16日(火) 13:00~16:45 | 音楽研修室 | 10名 | 専門研修「日本伝統音楽の授業づくり講座」 |
| 28 | 音楽 | 《講義・演習》「三味線音楽と長唄の魅力」 | 三味線演奏及び長唄音楽の実技研修を通して、日本伝統音楽のよさ、面白さを味わいます。 | 三味線 | 師範 岡部さち奈 | 10月17日(水) 8:30~12:00 | 音楽研修室 | 10名 | 専門研修「日本伝統音楽の授業づくり講座」 |
| 29 | 音楽 | 《講義》「文化としての音楽」 | 音楽に内在する美と感情のかかわり、音楽の形式、作曲・演奏、音楽の理解などについてわかりやすくお話しいただき、「文化としての音楽」とは何かを考え理解を深めます。 | 福島大学 | 名誉教授 平田 公子 | 10月17日(水) 13:00~15:00 | 音楽研修室 | 10名 | 専門研修「日本伝統音楽の授業づくり講座」 |
| 30 | 図画工作 | 《講義・演習》「これからの図画工作科の指導へ向けて」 | 学習指導要領を踏まえながら、図画工作科学習の意義、図画工作科指導の在り方、図画工作科と美術の学習の連携等について学びます。また、自信を持って図画工作科の指導と評価を行うための具体的な方法を学びます。 | 文部科学省 | 教科調査官 岡田 京子 | 9月19日(水) 15:00~16:45 | 美術研修室 | 10名 | 小学校経験者研修Ⅱ「教科指導研修」 |
| 31 | 図画工作・美術 | 《講義》「鑑賞教育のこれから」 | 学校や美術館の鑑賞教育の実践例を紹介し、講義や協議・演習を通して、子どもたちの鑑賞について考えます。美術教育の課題や鑑賞教育の現状と課題を踏まえ、これからの鑑賞教育の在り方について学びます。 | | 奥村 高明 | 8月17日(金) 14:15~15:45 | 美術研修室 | 10名 | 専門研修「創造性を育む図画工作・美術の鑑賞指導法講座」 |
| 32 | 美術 | 《講義》「美術教育のこれから」 | 美術教育の意義、美術教育において育成する資質や能力、校種連携と美術の関わり等について学ぶとともに、アートにおける学びを実感する教育方法と指導計画について考えます。 | 福島大学 | 副学長 三浦 浩喜 | 9月13日(木) 15:00~16:45 | 美術研修室 | 10名 | 中学校経験者研修Ⅱ「教科指導研修」 |
| 33 | 美術 | 《講義》「美術教育のこれから」 | 美術教育の意義や美術教育において育成する資質や能力について、子どもの発達段階をふまえて校種連携の視点から学び、教育方法や指導計画について考えます。 | 福島大学 | 特任教授 内藤 良行 | 10月11日(木) 15:00~16:45 | 美術研修室 | 10名 | 中学校経験者研修Ⅰ「教科指導研修」 高等学校経験者研修Ⅰ「教科指導研修」 |
| 34 | 美術 | 《講義・演習》「木彫～表現の可能性」 | 木の素材に触れながら発想・構想をひろげ、彫刻作品の制作を通して、表現の技法や鑑賞の方法について理解を深めます。美術教育における題材としての立体表現の可能性を探り、指導力を高めめます。 | 福島大学 | 教授 新井 浩 | 10月16日(火) 10:00~16:45 | 美術研修室 | 10名 | 専門研修「創造性をはくくむ表現指導法講座」 |
| 35 | 美術 | 《講義・演習》「木彫～表現の可能性」 | 木の素材に触れながら発想・構想をひろげ、彫刻作品の制作を通して、表現の技法や鑑賞の方法について理解を深めます。美術教育における題材としての立体表現の可能性を探り、指導力を高めめます。 | 福島大学 | 教授 新井 浩 | 10月17日(水) 8:30~15:00 | 美術研修室 | 10名 | 専門研修「創造性をはくくむ表現指導法講座」 |
| 36 | 美術 | 《講義》「現代の子ども、社会、学校と美術教育の課題」 | アートプロジェクトや実践例を紹介し、美術教育の意義や美術教育において育成する資質や能力等について学ぶとともに、子どもたちが学びを実感する教育方法について考えます。 | 福島大学 | 副学長 三浦 浩喜 | 10月29日(月) 15:15~16:45 | 美術研修室 | 10名 | 高等学校経験者研修Ⅱ「教科指導研修」 |
| 37 | 体育・保健体育 | 《講義》「発達障害を持つ児童生徒の理解と運動指導について」 | 発達障害を持つ児童生徒の特性の把握、児童生徒の特性を踏まえた教材や授業づくりのポイントについて学びます。 | 東洋大学 | 准教授 金子 元彦 | 8月23日(木) 13:00~15:00 | 231研修室 | 10名 | 専門研修「運動が苦手な児童生徒のための体育指導講座」 |
| 38 | 体育・保健体育 | 《講義・演習》「運動のおもしろさを引き出す教材づくりのポイント」 | 体育の授業づくりについて特性や魅力、発達段階を踏まえた教材づくりや指導の在り方について実技を交えてご指導いただきます。技能変容による授業評価への影響など実技を通して学ぶことのできる絶好のチャンスです。 | 新潟医療福祉大学 | 助教 高田 大輔 | 10月1日(月) 13:00~16:45 | 231研修室 体育館 | 10名 | 専門研修「『わかる』『できる』『かかわる』を引き出す体育指導力向上講座」 |
| 39 | 家庭 | 《講義》「新学習指導要領を踏まえた食生活の学習」 | 今回の学習指導要領改訂の「教育教育課程部会家庭科、技術・家庭ワーキンググループ委員」の1人である杉山久仁子先生の講義を通して、食生活分野について学習指導要領の改訂のポイントを中心に学びます。 | 横浜国立大学 | 教授 杉山久仁子 | 8月9日(木) 10:45~12:15 | 121研修室 | 10名 | 専門研修「家庭科を担当する先生のための基礎基本講座(調理編)」 |
| 40 | 家庭 | 《講義・演習》「新学習指導要領を踏まえた家庭科教育について」 | 学習指導要領が改訂になり、今年度中学校は移行期間に、高等学校は周知徹底の時期になっています。そこで、「新学習指導要領を踏まえた家庭科教育」の今後の在り方について、角間陽子先生からの講義・演習を通して学びます。 | 福島大学 | 教授 角間 陽子 | 10月25日(木) 13:00~15:00 | 121研修室 | 10名 | 専門研修「保育学習に関する指導の充実をめざす家科講座」 |
| 41 | 家庭 | 《講義》「これからの保育学習の方向性について」 | 近年の少子化による異年齢交流の減少や児童虐待等の問題により、青年期における家庭科の保育学習が重要視されています。そこで、中・高生の家庭科における「幼児に触れ合い体験」を含む保育学習の効果について研究されてきた倉持清美先生の講義を通し、「これからの保育学習の方向性について」学びます。 | 東京学芸大学 | 教授 倉持 清美 | 10月26日(金) 13:00~14:30 | 121研修室 | 10名 | 専門研修「保育学習に関する指導の充実をめざす家科講座」 |

| 聴講番号 | 教科等 | 講義・講話等題名 | 主な内容 | 所属 | 職名氏名 | 聴講日時 | 会場 | 定員 | 備考(講座名) |
|------|------|---|---|------------------|----------------|--------------------------|---------|-----|--|
| 42 | 英語 | 《講義・演習》 「発信技能を高める言語活動の指導と評価の在り方」 | 言語活動を通して発信技能の向上を図る指導と評価の在り方について、演習を交えながら分かりやすくご指導いただけます。明日からの授業改善に生かせるヒントをたくさん得ることができます。 | 東京家政大学 | 教授 太田 洋 | 7月5日(木) 13:00~15:30 | 141 研修室 | 10名 | 専門研修「4技能の向上につなげる英語科言語活動の指導と評価実践講座」 |
| 43 | 英語 | 《講義・演習》 「外国語活動・外国語における効果的な指導の在り方」 | 外国語活動・外国語を指導する上で重要なポイントを分かりやすく具体的にお話しいただき、外国語科完全実施を目前にした現在求められている指導の在り方について理解を深めます。 | 青山学院大学 | 教授 アレン玉井光江 | 8月9日(木) 13:00~15:45 | 141 研修室 | 10名 | 専門研修「小学校外国語活動講座」 |
| 44 | 英語 | 《講義・演習》 「深い学びを促す教科書本文の指導の在り方」 | 教科書本文の指導における深い学びを促す手立てについて、演習を交えながら具体的にご指導いただき、英語科におけるアクティブ・ラーニングについて理解を深めます。 | 東北学院大学 | 教授 村野井 仁 | 10月25日(木) 13:00~15:30 | 141 研修室 | 10名 | 専門研修「アクティブ・ラーニングにつながる英語指導講座」 |
| 45 | 道徳 | 《講義・演習》「考えを深める道徳科の授業の在り方」 | 子どもが真剣に考える道徳科の授業の在り方について、演習を交えながら具体的にご指導いただき、指導力の向上につなげます。 | 文部科学省 | 教科調査官 澤田 浩一 | 9月4日(火) 13:00~15:00 | 141 研修室 | 10名 | 専門研修「『特別の教科 道徳』の授業づくり講座」 |
| 46 | 特別活動 | 《講義》「今こそ求められる特別活動の意義」 | 学習指導要領改訂を踏まえて、「主体的・対話的で深い学びの視点」から見た特別活動の本質を追究する内容となっています。本講義は、子どもと向き合い続ける一教員としての自分自身を改めて見つめ直せる機会をいただき、現場の先生方“必聴”の講義になるはずです。 | 文部科学省 初等中等教育局 | 教科調査官 安部 恭子 | 7月31日(火) 13:00~14:30 | 231 研修室 | 10名 | 専門研修「自己有用感を高める特別活動(学級活動)指導力向上実践講座」 |
| 47 | 生徒指導 | 《講義》「これからの生徒指導」 | 日本学校心理学会副理事長でいらっしゃる山口豊一先生より、一人ひとりの子どもの学習面、心理・社会面、進路面、健康面における問題状況の解決と子どもの成長をめざす心理教育的援助サービスについて具体例を交えてお話しいただけます。 | 聖徳大学 | 教授 山口 豊一 | 7月3日(火) 13:10~15:20 | 講 堂 | 10名 | 高等学校経験者研修Ⅱ「生徒指導研修」 |
| 48 | 教育相談 | 《講義・演習》「チーム援助の進め方」 | 中学校の養護教諭として、長きにわたり本県の学校教育相談活動を牽引してこられた鈴木ひろ子先生より、校内でチームを組んで組織的に児童生徒を支援する際の方法や留意点などについてお話しいただけます。 | 福島大学大学院 | 特任教授 鈴木ひろ子 | 6月26日(火) 13:00~15:00 | 231 研修室 | 10名 | 専門研修「事例研究を中心に児童生徒理解を深める学校教育相談実践講座(前期)」 |
| 49 | 教育相談 | 《講義》「学校教育相談に生かす理論」 | 心理学専攻の教授として学生や院生の指導にあたる傍ら、臨床心理士として、また学校教育相談の実践家として多方面で活躍していらっしゃる山崎洋史先生より、学校教育相談に生かすことができるカウンセリングの理論について具体例を交えてお話しいただけます。 | 昭和女子大学 大学院 | 教授 山崎 洋史 | 9月10日(月) 14:30~16:45 | 講 堂 | 10名 | 専門研修「事例研究を中心に児童生徒理解を深める学校教育相談実践講座(中期)」 |
| 50 | 教育相談 | 《講義・演習》 「今日的な課題と学校教育相談～いじめ防止と保護者理解を中心に～」 | 東京都の公立学校の校長や日本学校教育相談学会の会長等を歴任された嶋崎政男先生より、いじめ予防への適切な対応、保護者との信頼関係づくりの具体策などについてお話しいただけます。 | 神田外語大学 | 客員教授 嶋崎 政男 | 9月27日(木) 13:00~16:45 | 講 堂 | 10名 | 専門研修「児童生徒理解に生かす学校教育相談基礎講座」 |
| 51 | 教育相談 | 《講義》「発達課題と児童生徒理解」 | 臨床心理士として、また、小・中・高等学校のスクールカウンセラーとして児童生徒や保護者の支援にかかわってこられた大島典子先生より、発達課題に基づいた児童生徒支援の具体策についてお話しいただけます。 | いわき明星大学 | 准教授 大島 典子 | 9月28日(金) 13:00~15:00 | 講 堂 | 10名 | 専門研修「児童生徒理解に生かす学校教育相談基礎講座」 |
| 52 | 教育相談 | 《講義・演習》「解決志向のアプローチ」 | 解決志向アプローチセラピーの発想や技法をもとに、日々児童生徒や保護者の相談にあたっていらっしゃる西野明樹先生より、学校で使える解決志向のアプローチについて、具体例を交えてお話しいただくとともに、実践に結びつく演習を行っていただけます。 | 高幡心理相談所 | 統括所長 西野 明樹 | 10月29日(月) 13:00~16:45 | 231 研修室 | 10名 | 専門研修「事例研究を中心に児童生徒理解を深める学校教育相談実践講座(後期)」 |
| 53 | 健康教育 | 《講義・演習》「調査研究の進め方・まとめ方」 | 調査研究法を学ぶことで、健康実態の把握だけでなく、指導・実践の効果の検証や改善に役立てることができま。養護教諭としての調査研究の進め方、まとめ方について学びます。 | 東京学芸大学 | 教授 朝倉 隆司 | 8月2日(木) 13:00~16:45 | 321 研修室 | 20名 | 養護教諭経験者研修Ⅱ「宿泊研修」 |
| 54 | 健康教育 | 《講義・演習》「健康相談の実際」 | 不登校やいじめ問題、発達障害等の課題をかかえる児童生徒への支援について講義をいただき、児童生徒のメンタルヘルスについての理解を深め、健康相談の進め方や事例検討の進め方の実際を学びます。 | FR教育臨床研究所 | 所長 花輪 敬男 | 9月12日(水) 13:00~16:45 | 321 研修室 | 20名 | 養護教諭経験者研修Ⅰ「宿泊研修」 ※一般聴講可 |
| 55 | 健康教育 | 《講義》「保健教育の進め方」 | 現代的な健康課題に対して養護教諭の持つ専門的な知識や技能を活用し、各教科等と関連した効果的な保健教育の進め方について学びます。 | 横浜国立大学 | 教授 物部 博文 | 9月21日(金) 13:00~14:20 | 321 研修室 | 20名 | 養護教諭専門研修講座 |
| 56 | 健康教育 | 《講義》「学校における食育の推進」 | 子ども達が望ましい食生活を営むための知識と実践力を身につけることができるように、学校における「食育」の展開のあり方や進め方を学びます。 | 上越教育大学 大学院 | 教授 野口 孝則 | 7月25日(水) 15:00~16:45 | 321 研修室 | 20名 | 学校栄養職員経験者研修Ⅱ「宿泊研修」 |
| 57 | 健康教育 | 《講義》「食育の推進に向けて」 | 食習慣の乱れや肥満等子どもたちの健康課題への対応が求められています。本県の健康課題である肥満改善へ向けた個別相談・栄養指導の在り方等をどのように進めていけばよいのかを学びます。 | 和洋女子大学 | 准教授 杉浦 令子 | 9月28日(金) 13:00~15:00 | 321 研修室 | 20名 | 新規採用学校栄養職員経験者研修「宿泊研修B」 |